

第16回全日本中学生男女ソフトボール大会に協賛

2016(平成28)年8月11日(木祝)~14日(日)、大阪市此花区の舞洲運動広場にて「第16回全日本中学生男女ソフトボール大会」が開催されました。全国餅工業協同組合は4年連続で同大会を協賛し、国内産水稲もち米100%使用の包装餅のプロモーションを行いました。

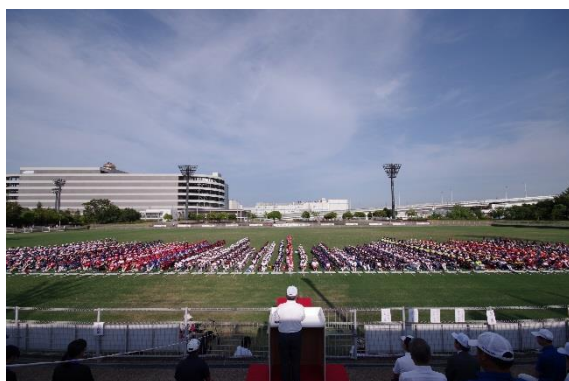


大会期間中、大阪では連日摂氏35度を超える猛暑日が続きました。その過酷な条件下、全国から集まった女子48チーム、男子17チームの中学生たちが、熱闘を繰り広げました。

試合に先立って8月11日(木)には、会場に隣接するセレッソ大阪の天然芝グラウンドで開会式が開催されました。全チームの選手たちや応援に訪れた家族、大会関係者を前に、全国餅工業協同組合から「お餅がスポーツにぴったりな食品であることや国内産水稲もち米100%使用の包装餅の魅力」をアナウンスしました。

会場内に設けられた特設ブースでは、出場全チームの選手人数分の切り餅セット(包装餅、冊子、餅カーボ漫画等の箱詰め)を用意。各チームの代表者に、健闘を祈りながら真心を込めて切り餅セットを贈呈させて頂きました。

また、特設ブースの横に鎮座する「おもち大明神」では、おみくじで大吉を引けば切り餅セットが当たる催しを開催。試合前の運試しに、多くの選手や保護者の方々に賑わいました。惜しくも外れた方でも、お餅大明神と記念撮影をしてスマートフォン・携帯電話などでSNSに投稿してくれた方には切り餅セットをプレゼント。インターネットを通じて、より多くの人々に向けて情報を発信することができました。



今回、チーム全員でおもち大明神に“参拝”に訪れて、即興で一発芸まで披露してくれたチームがありました。それが、兵庫県から来た女子チーム「明石Pクラブ」です。なんと監督さんまで飛び入りして、爆笑の渦が巻き起こりました。



実は、このチームはその後トーナメントを勝ち抜いて見事優勝しました。ひょっとすると、おもち大明神の御利益があったのかもしれませんが。

また、男子では長崎KSC(長崎県)が4年ぶり5回目の優勝を果たし、第16回全日本中学生男女ソフトボール大会は無事幕を下ろしました。

全国餅工業協同組合の本大会への協賛は4年連続となり、選手や関係者の間に、スポーツ時のスタミナ源としてのお餅の有用性がかなり浸透しつつあります。

監督やコーチからは「大会前から選手たちに炭水化物をしっかりと摂らせている」という話を聞き、お餅を活用したカーボローディングについて理解を深めて頂く機会を提供することもできました。

全国餅工業協同組合では、今後もスポーツ振興とプロモーション活動を通じて、「10月10日はおもちの日」であることや、「国内産水稻もち米100%使用の包装餅」の魅力を、より多くの方々に向けて一層アピールしてまいります。

